

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 大
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	62,747	1.0	9,464	3.9	10,135	1.9	5,911	12.5
24年3月期第2四半期	62,150	2.2	9,111	△0.1	9,944	3.8	5,256	△2.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 6,360百万円 (32.7%) 24年3月期第2四半期 4,792百万円 (△11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	94.77	—
24年3月期第2四半期	81.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	153,892	96,610	62.1
24年3月期	142,238	93,804	65.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 95,594百万円 24年3月期 92,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
25年3月期	—	25.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	2.2	18,800	0.1	19,700	△4.1	11,400	6.6	184.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	61,820,596株	24年3月期	63,420,596株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,863株	24年3月期	602,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	62,379,823株	24年3月期2Q	64,113,999株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日、以下「当第2四半期」という。)におけるわが国経済は、震災復興需要等で一部に回復の動きが見られる一方、欧州や中国事情などを背景とした世界景気の下振れリスクと長期化する円高などの懸念から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

この様ななか、当社グループは、業務用カラオケ事業における重点戦略地域へのDAM拡販および急成長分野となったエルダー市場の拡大に注力いたしました。カラオケ・飲食店舗事業におきましては、店舗の差別化施策や各種キャンペーン等により集客および顧客満足度向上に努めました。音楽ソフト事業におきましては、主力アーティストの作品群が貢献するほか、コストコントロールによる経営の効率化が定着し、収益は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期の売上高は音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり、62,747百万円(前年同期比1.0%増)となりました。利益面におきましては、業務用カラオケ事業において一時的な営業費用の増加により減益となったものの、カラオケ・飲食店舗事業、音楽ソフト事業、その他の事業が増益となったことから営業利益は9,464百万円(同3.9%増)、経常利益は10,135百万円(同1.9%増)、四半期純利益は、特別損益の改善により5,911百万円(同12.5%増)となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	62,150	62,747	597	1.0%
営業利益	9,111	9,464	352	3.9%
経常利益	9,944	10,135	190	1.9%
四半期純利益	5,256	5,911	654	12.5%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、ベストセラー機としてゆるがない高性能と高品質なコンテンツを誇る最高位機種「L I V E DAM」をはじめ出荷が引き続き順調に推移するほか、重点戦略地域への営業強化による機器貸付件数増加によりDAM稼働台数は大幅に増加しております。なかでも4月よりDKエルダーシステム推奨機「FREE DAM」に新たなコンテンツを追加したことによるサービスの向上とエルダー市場に対する営業強化が寄与いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	31,402	31,895	493	1.6%
営業利益	6,653	6,586	△66	△1.0%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業のカラオケルームにおきましては、「選べるビッグエコー」として3つの店舗ブランドを積極的に展開しております。また、人気インテリアショップ監修の女性専用フロアや期間限定の人気アーティストルームを設置し話題となるなど店舗の差別化を図り、集客と顧客満足度の向上に取り組みました。飲食店舗におきましては、市場の変化や地域性、客層に合せた業態の変更や複合に取り組みました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	21,369	22,016	647	3.0%
営業利益	3,123	3,288	164	5.3%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、音楽の視聴環境の変化から音楽配信売上が軟調に推移するなか、「ソナーポケット」や「MAN WITH A MISSION」などの若手アーティストの作品群やスタジオジブリのDVDが売上に貢献するほか、経営効率を重視したコストコントロールにより、収益は順調に推移いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,996	4,895	△100	△2.0%
営業利益	376	399	22	6.1%

(その他)

当事業の携帯電話向けコンテンツサービスでは、コンテンツの統廃合によりコスト低減に努めました。また、衛星放送事業におけるTVチャンネルの撤退効果など、事業の見直しにより収益が改善いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,382	3,940	△442	△10.1%
営業利益	393	652	258	65.6%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,653百万円増加し、153,892百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、現金及び預金が9,229百万円増加し、受取手形及び売掛金が441百万円減少しております。

固定資産では、投資有価証券が1,249百万円及びカラオケ賃貸機器が1,012百万円それぞれ増加し、無形固定資産のその他に含まれる音源映像ソフトウェアが340百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ8,847百万円増加し、57,281百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、支払手形及び買掛金が1,850百万円増加し、未払法人税等が1,335百万円及びその他の流動負債に含まれる未払金が1,061百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、社債が10,000百万円増加しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ2,806百万円増加し、96,610百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加5,911百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少1,884百万円及び自己株式の取得による減少1,667百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ9,447百万円増加し、43,814百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が10,004百万円、減価償却実施額が6,441百万円、仕入債務の増加額が1,853百万円、法人税等の支払額が5,402百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ2,523百万円減少し、11,965百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が5,051百万円、無形固定資産の取得による支出が1,816百万円及び映像使用許諾権の取得による支出が806百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ1,797百万円減少し、8,311百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、社債の発行による収入が9,946百万円、長期借入れによる収入が1,850百万円、長期借入金の返済による支出が2,481百万円、配当金の支払額が1,882百万円及び自己株式の取得による支出が1,667百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ9,662百万円増加し、5,821百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年8月6日に公表した業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ119百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,219	43,449
受取手形及び売掛金	7,007	6,565
たな卸資産	5,155	5,228
その他	6,255	7,083
貸倒引当金	△130	△133
流動資産合計	52,508	62,193
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器(純額)	6,180	7,193
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	14,479	14,221
土地	24,316	24,469
その他(純額)	6,097	6,072
有形固定資産合計	51,074	51,956
無形固定資産		
のれん	472	399
その他	6,081	5,745
無形固定資産合計	6,553	6,145
投資その他の資産		
投資有価証券	13,892	15,142
敷金及び保証金	12,805	12,918
その他	5,656	5,795
貸倒引当金	△251	△259
投資その他の資産合計	32,102	33,597
固定資産合計	89,730	91,698
資産合計	142,238	153,892

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,328	5,178
短期借入金	5,554	4,988
未払法人税等	5,353	4,017
賞与引当金	1,062	1,368
その他	10,861	9,451
流動負債合計	26,159	25,005
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	15,004	15,015
退職給付引当金	3,299	3,487
役員退職慰労引当金	2,220	1,927
負ののれん	190	168
その他	1,559	1,677
固定負債合計	22,274	32,276
負債合計	48,433	57,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	12,905	10,254
利益剰余金	68,730	72,757
自己株式	△989	△5
株主資本合計	92,996	95,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	793	1,237
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	△186	△222
その他の包括利益累計額合計	△170	237
少数株主持分	978	1,016
純資産合計	93,804	96,610
負債純資産合計	142,238	153,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	62,150	62,747
売上原価	36,336	36,620
売上総利益	25,813	26,127
販売費及び一般管理費	16,701	16,663
営業利益	9,111	9,464
営業外収益		
受取利息	354	330
受取配当金	43	49
受取協賛金	252	229
負ののれん償却額	21	21
その他	478	342
営業外収益合計	1,151	973
営業外費用		
支払利息	147	142
その他	170	160
営業外費用合計	318	302
経常利益	9,944	10,135
特別利益		
固定資産売却益	19	31
投資有価証券売却益	19	—
特別利益合計	39	31
特別損失		
固定資産処分損	107	102
減損損失	2	60
関連事業整理損	680	—
その他	22	—
特別損失合計	812	162
税金等調整前四半期純利益	9,171	10,004
法人税、住民税及び事業税	4,241	4,073
法人税等調整額	△362	△22
法人税等合計	3,878	4,051
少数株主損益調整前四半期純利益	5,292	5,952
少数株主利益	35	40
四半期純利益	5,256	5,911

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,292	5,952
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△428	444
為替換算調整勘定	△71	△36
その他の包括利益合計	△499	408
四半期包括利益	4,792	6,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,757	6,319
少数株主に係る四半期包括利益	35	40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,171	10,004
減価償却費	6,691	6,441
減損損失	2	60
負ののれん償却額	△21	△21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△146	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	276	306
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△178	△293
受取利息及び受取配当金	△397	△380
支払利息	147	142
固定資産処分損益(△は益)	87	70
売上債権の増減額(△は増加)	3,635	438
たな卸資産の増減額(△は増加)	833	△72
カラオケ貸貸機器の売上原価振替	156	155
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,487	1,853
未払金の増減額(△は減少)	108	△771
その他	△493	△822
小計	17,386	17,121
利息及び配当金の受取額	307	392
利息の支払額	△145	△146
法人税等の支払額	△3,060	△5,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,488	11,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期性預金の預入による支出	△68	△47
定期性預金の払戻による収入	103	64
有形固定資産の取得による支出	△8,468	△5,051
有形固定資産の売却による収入	141	32
無形固定資産の取得による支出	△1,437	△1,816
映像使用許諾権の取得による支出	△664	△806
投資有価証券の取得による支出	—	△521
貸付けによる支出	△250	△112
貸付金の回収による収入	290	509
敷金及び保証金の差入による支出	△351	△486
敷金及び保証金の回収による収入	620	266
その他	△24	△343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,109	△8,311

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	132	77
長期借入れによる収入	1,300	1,850
長期借入金の返済による支出	△2,220	△2,481
社債の発行による収入	—	9,946
配当金の支払額	△1,925	△1,882
自己株式の取得による支出	△1,104	△1,667
その他	△21	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,840	5,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	511	9,447
現金及び現金同等物の期首残高	26,573	34,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,085	43,814

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	31,402	21,369	4,996	57,767	4,382	62,150	—	62,150
セグメント利益 (営業利益)	6,653	3,123	376	10,152	393	10,546	△1,434	9,111

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,434百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	31,895	22,016	4,895	58,807	3,940	62,747	—	62,747
セグメント利益 (営業利益)	6,586	3,288	399	10,273	652	10,925	△1,461	9,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,461百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の「業務用カラオケ」のセグメント利益は94百万円、「カラオケ・飲食店舗」のセグメント利益は23百万円、「音楽ソフト」のセグメント利益は0百万円、「その他」のセグメント利益は1百万円、「調整額」のセグメント利益は0百万円、それぞれ増加しております。